

第6章

比較構文は誤読の宝庫

比較とは、そもそも「2つのものを比べて、その大小関係を表す」方法にすぎません。そして、その2つ (A、Bとします) の大小関係とは

- ① **A > B**
AがBより大なり
- ② **A < B**
AよりBが大なり
- ③ **A = B**
AとBは同程度

という、3通りにすぎないのです。本来は単純明快なものはずです。それでも、「比較構文」を苦手とする（または苦手意識を持っている）日本人学習者が多いようです。（もっとも、競争意識を煽るなどという理由で、優劣をつけないようにする最近の学校教育の影響かもしれません）

この章では、日本人学習者の多くが間違えやすい、また見落としがちな事項を取り上げ、比較に関する認識を新たにするとともに、その問題点を浮き彫りにしていきます。